令和8年度那須塩原市郷土芸能発表会

出演団体プロフィール①

黒磯巻狩太鼓



源頼朝は、自らの勢力を天下に知らしめるため、那須野ヶ原一帯で大きな狩りを行いました。参加したのは、10万人ともいわれ、その歓声は天地を揺るがす雷鳴のようであったと伝えられています。

黒磯巻狩太鼓はその情景を太鼓で再現したもので、五曲の組曲で構成されています。演奏形式は、太鼓による交響曲となっています。市の行事・地域のお祭りをはじめ県内外での演奏のほか、自主活動として福祉施設への慰問演奏や小中学校の学習支援なども行っています。

毎週土曜日17時及び19時15分～黒磯公民館で練習しています。会員は随時募集していますので、興味ある方はぜひ、見学においでください。

遅沢ばやし保存会



遅沢ばやしは、西那須野地区の北部に位置する遅沢地域で明治15年ごろに、当時農家の五穀豊穣を祈る村祭りに、華を添え賑わいを演出しようとして「遅沢囃子組」を結成したのが始まりです。

途中一時中断がありましたが、以来、幾多の歴史を刻み、昭和46年に組織を「遅沢ばやし保存会」と改め現在に至っています。現在は貴重なお囃子を後世に残そうと地元小学生等への伝承活動を行っています。

本日は、お囃子教室での子供たちの成果も発表させていただきます。

太夫塚八木節保存会



明治13年、真岡市旧大内村から那須塩原市太夫塚に開拓者が入植した。大正13年に旧大内村の関口和吉青年が太夫塚の中里家に婿養子に入った。関口和吉青年は、大内村でやっていた八木節笠踊りを地域の青年たちに伝授し、太夫塚神社祭礼に余興として踊った。

その後、八木節笠踊りは青年組織の解散とともに途絶えたが、昭和56年太夫塚開拓100年祭を実施するにあたり、八木節笠踊り保存会が結成され、子供会育成会の協力を得て、小学生を踊り子とする八木節笠踊りが復活した。

那須野巻狩踊りお囃子会



那須野巻狩踊りお囃子会は、那須野巻狩踊りを那須塩原市の郷土芸能として伝承するとともに、広く市民に親しまれるものとして地域社会の活性化に貢献することを目的に、平成6年(1994年)に結成されました。

これまでに地域の各種イベントや、福祉施設訪問などを通じて市民の皆さんに、踊りとお囃子を披露させて頂き、参加された皆さんと一緒に楽しい時間を共有しております。

年間10回程度の活動機会をいただき、20歳から80歳代のメンバーが活動しております。

練習は月2回程度、いきいきふれあいセンター(黒磯公民館)地下大練習室で行っております。

会員を募集中です…仲間に入って「踊りとお囃子」を一緒に楽しみ、若返りの時間を過ごしませんか…

令和8年度那須塩原市郷土芸能発表会

出演団体プロフィール②

三島おはやし会
三島こどもおはやし会



「地元のお祭りぐらい、自分たちでお囃子を演奏しよう！」と、平成元年に発足しました。
発足当時は、太鼓を購入する資金もなく自分たちで木を切り出し、太鼓の胴を作り練習をしていましたが、現在は、会員も少しずつ増え、次の世代へと三島おはやし会のバトンをつないでいます。
三島おはやし会では、全部で4曲のお囃子を演奏します。①けんかばやし、②新四丁目（しんしちょうめ）、③四丁目（しちょうめ）、④新ばやしです。
それぞれ特徴のある音色をお楽しみください。

那須拓陽高等学校疏水太鼓部



栃木県立那須拓陽高等学校は昭和20年に栃木県立那須農学校として創立し、那須農業高校を経て平成元年に現在の校名になりました。
疏水太鼓部は昭和59年にクラブ活動として始まり、昭和60年に学校創立40周年記念式典での発表後、部活動になりました。卒業生も多く在籍する那須野ヶ原疏水太鼓保存会の皆様の熱いご指導の下、日々練習に励んでいます。
今年は7月下旬に秋田県で行われた全国高等学校総合文化祭に栃木県代表として出場し、練習成果を発揮することができました。令和11年に本校は那須清峰高校と統合になりますが、これからも地道な練習を続けていきたいと思います。

三島八木節保存会



栃木の民謡といえば、八木節です。三島おはやし会では、この八木節にも挑戦しようということで、お囃子と並行して演奏しています。
三島八木節保存会の特徴は、まず歌詞です。「うちの母ちゃん読み上げまする～」から始まる歌詞は、三島のオリジナルで、とてもユニークな歌詞となっております。
また、酒樽や、大胴を中心に、軽快な「チャカポコ」とリズムを刻む、大皮や小皮、鉦と、高音で華やかな旋律を奏でる笛が特徴です。さらに、大胴の迫力ある演奏もお楽しみください。

関谷子供囃子保存会



もともとの大人の保存会もあるが、平成5年10月に子供の保存会も結成し今年で31年目。
お囃子は江戸時代末期に江戸から当地域に伝わった。
夏の天王祭の山車運行や特設ステージで、大人の保存会とともに参加している。
現在会員は小学生から中学生まで計26名・毎週1回夜公民館で練習している。公演活動は祭の外に道の駅や公民館などの各種イベントに出演している。保存会の活動のほか、学校のクラブ活動にも取り入れている。関谷囃子は市の無形民俗文化財指定。